資料７

芽室町観光ビジョン　（案）

芽室町は

住む人も訪れる人も「いい気分」になる観光 を目指します。

※参考：観光庁ビジョン
「住んでよし、訪れてよしの国づくり」

策定背景

なぜ、観光ビジョンを策定するのか？

第5期芽室町総合計画の観光分野を、時代背景などを基に、より具体化して、地域が一体で観光振興を進めるために、芽室町観光ビジョンを策定します。

《背景》

1 第5期芽室町総合計画の実現	＝	基本目標1と5の実現
2 人口減少社会	＝	域内消費額減少への対応
3 ウィズコロナ社会	＝	新たな観光ニーズへの対応
4 日高山脈国立公園化	＝	国立公園化を活用した観光振興
5 芽室町ビジョンマップ	＝	マップ内の観光分野を実現

↓

5つの背景から、地域一体で、観光振興をさらに推進していくために、観光分野が **目指す姿を明確**にした「観光ビジョン」を策定します。

↓

目指す姿を共有することで、**地域が一体となった観光振興を実現**していきます。

概要

第5期芽室町総合計画：基本目標　○ 農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり
○ 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり

❒ ビジョン（目指す姿）

住む人も 訪れる人も「いい気分」になる観光

❒ 4つの方針

1 『ひ と』を増やしたい　『交流・関係・定住人口の増』
2 『おかね』を稼ぎたい　『経済・雇用の発展』
3 『こころ』を豊かにしたい　『精神の充実と郷土愛の育み』
4 『ほこり』を持ち続けたい　『歴史・文化・食の継承と磨き上げ』

❒ 8つの方策

1 新嵐山スカイパークを再生し、観光の拠点化
2 日高山脈国立公園化を活用し、観光振興の推進
3 観光シンボルを設定し、地域で共有・発信
4 受入体制整備とおもてなし力を向上し、リピーター増
5 食・体験・イベントを提供・実施し、価値創造と継承
6 十勝管内の観光事業者等と連携し、広域観光の推進
7 観光データを収集・分析し、ターゲット設定・商品化・情報発信
8 地域ブランディングを活用し、芽室町の認知度向上

振興体制

※ 今後関係先と協議して合意形成を進めていく

町外

農業者
・農業価値の発信
・農業体験プログラム提供

町民
・観光に対する理解
・魅力発信とおもてなし

飲食・物販事業者
・地域の食、土産等の提供

町内

観光・旅行事業者
・観光商品の企画・販売・提供

交通事業者
・交通の充実

宿泊事業者
・受入環境整備

メディア関係
・魅力発信

地域が一体となった
広域連携による観光振興イメージ

JAめむろ
・観光に対する理解
・組合員の相談・支援
・魅力発信とおもてなし

芽室町商工会
・観光に対する理解
・会員の相談・支援
・魅力発信とおもてなし

めむろみなくる商店会
・観光に対する理解
・魅力発信とおもてなし

十勝管内19市町村
十勝観光連盟
十勝・日高山脈観光連携協議会
地域連携DMO 等

・情報共有・連携
・相互交流の促進 等

広尾町・岐阜県揖斐川町
トレーシー市、台東区、墨田区
秋田県大館市、三重県いなべ市 等

・観光ビジョンの策定
・インフラ整備
・各種支援等

芽室町

芽室町
観光物産協会

・観光事業の企画立案
・関係事業者との連携・調整

4つの方針

観光振興により、この4つに好影響を与えていきます

1 『ひと』を増やしたい

交流・関係・定住「人口」の増

ア 交流・関係・定住人口の増

2 『おかね』を稼ぎたい

「経済・雇用」の発展

ア 観光物産関連事業者の収入増
イ 上記に関連した所得増
ウ 雇用創出、地元職業選択肢の増
エ 税収増、行政サービスの充実・継続

3 『こころ』を豊かにしたい

「精神」の充実と郷土愛の育み

ア 住んでいる町の魅力の再認識
イ 再認識した魅力を自ら発信、伝えたくなる雰囲気づくり
ウ 観光客から芽室町を褒められることでの精神的豊かさ
エ 住んでいる町への誇りと自信
オ イベント等の企画・実施による充実感
カ 交通等のインフラ整備、治安確保、環境整備等による生活向上

4 『ほこり』を持ち続けたい

「歴史・文化・食」の継承と磨き上げ

ア 歴史・文化・食の価値の更なる磨き上げ
イ 歴史・文化・食の価値が継承されていく
ウ 文化交流や国際交流への発展による教育効果
エ 地域価値の再認識による誇りと自信

8つの方策 ❶

新嵐山スカイパークを再生 ➡ 観光の拠点化

本町の歴史ある観光資源である**「新嵐山スカイパーク」を再生**し、本町最大の観光地**（観光拠点）**として、町内に人を流し、まち全体の活性化を図ります

課題と可能性

1）新嵐山スカイパークが閉業中であるが、再生することで、観光の拠点として存在意義が発揮される

具体的に必要な行動（施策）

1）新嵐山スカイパークの再生（必要な機能等の検討と担い手の確保）

8つの方策❷

日高山脈国立公園化を活用　➡　観光振興の推進

日高山脈襟裳国定公園が、令和6年夏に**「国立公園化」**の予定であり、その契機を来訪者の増を図り、観光振興の推進に繋げていきます。

課題と可能性

2）日高山脈国立公園化を予定されており、新たな観光資源として活用が期待できる

具体的に必要な行動（施策）

2）地元の人が日高山脈の魅力をより語れるようになる方策の検討・実施するとともに、日高山脈と既存コンテンツ等の組み合わせや広域連携による観光事業の検討・実施

8つの方策 ❸

観光シンボルを設定 ➡ 地域で共有・発信

本町には、たくさんの観光資源がある中で、**観光シンボルをひとつ設定**し、そこを拠点に観光振興を進めます。

また、まちなか観光への波及を進めることで、まちなか再生の政策との連動を実現します。

観光シンボルは、「新嵐山展望台からの風景」に設定します。

課題と可能性

3）新嵐山展望台からの風景は、芽室遺産にも認定され、各メディアからの注目度も高く、芽室町を代表する場所である

具体的に必要な行動（施策）

3）新嵐山展望台のより効果的な活用の検討・実施

8つの方策 ❹

受入体制の整備とおもてなし力の向上 ➡ リピーター増

観光・物産情報、アクティビティ等の観光コンテンツ受付機能を備えた窓口の検討を進め、観光の入口を明確にして、そこを拠点に周遊観光に繋げていきます。

おもてなし力向上のため、**“住んでいる人が芽室町の魅力をより語れるように”**なります。

観光を通じて、他者（観光客）から芽室町を褒められることが、**自信や誇り、シビックプライドに繋がります。**

課題と可能性

4） 観光・物産情報、観光コンテンツの受付機能などを備えた窓口充実により、来客者の利便性向上が期待できる
5） 住んでいる人が、より魅力を語れるようになるとともに、観光案内を行う人財育成等で、おもてなし力が向上する
6） 芽室町観光物産協会が組織改革と事業者連携などを進めており、より強固な観光振興推進の核組織になる
7） 交通アクセスの強みに加え、二次交通や交通情報の充実で快適な観光環境が整う

具体的に必要な行動（施策）

4） 観光・物産窓口の効果的な手法等を検討・実施
5） 住んでいる人への魅力発信と観光ガイドの確保・育成
6） 組織の更なる強化と関連事業者との連携した観光推進策の実行
7） 二次交通強化のためサイクルツーリズム活用や他の交通手段検討と交通情報強化による利便性強化

8つの方策 ❺

食・体験・イベントを提供・実施 ➡ 価値創造と継承

食・体験・イベントは、観光の大きな要素であり、芽室町に訪れた人の各シーンを想像し、観光振興を進めていきます。

■ 各シーンとは

「食事」「お土産を購入」「自然景観などの体感」「食の美味しさ、価値を感じる」「イベントで楽しい時間を過ごす」「人と触れ合う時間」など

課題と可能性

8） 自然・景観、農業、食の強みを更に活かすことで、新たな観光・物産関連の商品化が進む
9） サイクルツーリズムが推進されており、他分野と連動させることで稼げる体制整備が期待できる
10） 野遊びをキーワードに町民自らが観光資源の再認識、磨き上げを行うことで、観光を商品化し、地域間連携が期待できる
11） 町民等有志によるイベントが実施されており、官民連携により継続性が図られる

具体的に必要な行動（施策）

8） 農業体験・グリーンツーリズムなどの観光商品化や芽室らしいお土産開発
9） トカプチ400の「地域ルート認定」と他分野との連携強化
10） 町民等が検討した観光ツアーの商品化と全国の関連自治体との送客
11） イベントの目的に応じて、官民連携の役割分担を行い、理想のイベント実施体制の実現

8つの方策 ❻

十勝管内の観光事業者等と連携 ➡ 広域観光の推進

観光は、ひとつの自治体で完結せず、**十勝管内での連携**が、相乗効果を発揮します。

十勝管内の観光業界とのネットワークを密に、信頼できる仲間づくりを進め、**広域観光ネットワークを形成**します。

課題と可能性

I2） 十勝全体の魅力は世界レベルであり、各自治体の特性を活かして連携することで相乗効果が発揮される
I3） 道内外の連携自治体との連携を更に具体的に深めることで、送客効果が発揮される

具体的に必要な行動（施策）

I2） 十勝管内の観光関連組織・事業者等との積極的な連携を進めていく
I3） 連携自治体等と送客や物産交流などを進めていく（ひと・もの・かねの交流）

8つの方策 ❼

観光データを収集・分析 ➡ ターゲット設定・商品化・情報発信

必要な観光データの抽出・収集・分析により、観光戦略を随時検討し、ターゲットの明確化や商品化、情報発信力向上に繋げていきます。現段階で想定する情報発信媒体は、次のとおりです。

1 紙媒体（各種パンフレット、雑誌等への広告掲載等）

2 デジタル媒体（SNS、WEBメディア、HP等）

3 パブリシティ（報道機関等を通した情報発信）

課題と可能性

14） 観光関連のデータ収集・分析が十分でなく、データに基づく観光推進が必要である
15） ターゲットを明確にした観光商品化、情報発信が必要である

具体的に必要な行動（施策）

14） 必要な観光データを抽出し、収集、分析を進めていく
15） 観光光パンフレット、SNS、WEBメディア、HPなどの魅力向上と機能強化を図るとともに、各種メディアをより効果的に活用した情報発信、さらには観光案内機能の強化を図る

8つの方策 ⑧

地域ブランディングを活用 ➡ 芽室町の認知度を向上

町の認知度向上が、観光のきっかけになるため、地域の強みを明確化し、地域の中心的な産業を打ち出すことで、本町ならではの強みを醸成し、地域ブランドを確立していくため、地域のブランディングの取り組みにより、**芽室町の統一イメージを形成**していきます。 まずは、スイートコーン生産量日本一を訴求していきます。

課題と可能性

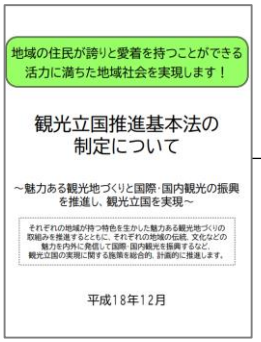
16） 地域ブランディングが進められており、町の特徴を明確にしていくことで、他地域との差別化を図り、認知度向上、芽室ファン増加が図られる

具体的に必要な行動（施策）

16） 地域ブランディングを進め、町の魅力発信の強化により、芽室ファンの創出とサプライチェーンの実現

位置づけ

観光立国推進基本法


地域の住民が誇りと愛着を持つことができる活力に満ちた地域社会を実現します！

観光立国推進基本法の制定について

～魅力ある観光地づくりと国際・国内観光の振興を推進し、観光立国を実現～

それぞれの地域が持つ特色を生かした魅力ある観光地づくりの取組みを推進するとともに、それぞれの地域の伝統、文化などの魅力を内外に発信して国際・国内観光を振興するなど、観光立国の実現に関する施策を総合的、計画的に推進します。

平成18年12月

第５期芽室町総合計画

【基本目標】　1 農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり
【政策】　2 農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興
【施策】　2 地域資源を活用した観光振興

【基本目標】　5 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり
【政策】　3 活力を活かした、活気あふれるまちづくり
【施策】　1 シティープロモーションの推進

めむろ シティープロモーション計画

芽室町 観光ビジョン

芽室町 まちなか再生ビジョン

めむろ
シティープロモーション計画

●シティープロモーション（地域住民の愛着度の形成）をするための計画

○「推奨意欲・参加意欲・感謝意欲を高め、町に対して「誇り」「愛着」「共感」を持ち芽室町のために自ら関わっていこうという気持ち（シビックプライド）の醸成」を目指す

芽室町観光ビジョン

●観光を振興するためのビジョン

○「住む人も訪れる人も「いい気分」になる観光」を目指す

芽室町まちなか再生ビジョン

●まちなかを再生するためのビジョン

○「夢が生まれ、夢を応援しあい、人が人を呼び込み、夢が実現できるまちなか」を目指す

【観光ビジョンの期間】
総合計画の期間と連動させ、必要に応じて見直しを行う。

目指す姿

住む人も訪れる人も「いい気分」になる観光

観光とは、**“光を観（み）に行く”**、と書きます。

芽室町における『光』とは
自然・景観、農業、食、
そして「人」です。

住んでいる「人」が、楽しそうに輝いていることが、
人を引き寄せることになります。

住んでいる人の輝きが、来訪者の楽しみや幸せ感になり、
来訪者に楽しんでもらうことが、**住んでいる人の幸せ**に繋がります。
観光での出会いを大切にして、**楽しさと幸せが循環・連鎖するまちづくり**を目指します

芽室町民18,000人で、芽室町の魅力を磨き・発信し、
来訪者に、**気持ちを込めた「おもてなし」**をすることで

住む人も 訪れる人も 「いい気分」になる観光を進めていきます。

住む人

住む人も訪れる人も「いい気分」とは？
～観光を進めることで、「住む人」に、次のような感情を生み出していきます

A. 観光客が増えることは、芽室町が**選ばれるまち**ということなので、**嬉しいし、誇り**に思えるので「いい気分」です

E. 観光で、町の**税収が増え**、それで**行政サービスが維持・充実**されれば、より安心して生活ができますので「いい気分」です

I. 一度来た観光客が、**二度目も芽室町を訪問**してくれているのを知ると「いい気分」です

M. 新嵐山展望台からの風景を見せた時に**感動してくれる**と「いい気分」です

Q. 観光がきっかけで**ふるさと納税が増える**と、**芽室を応援**してもらえると思い「いい気分」です

B. 観光が活発になれば、**観光関連の職業が増え**、地元での**職業**選びの**選択肢が増**えるので「いい気分」です

F. 観光客に、農業の**価値を知ってもらえる**と嬉しくて、「いい気分」です

J. 観光を進めるために、住んでいるまちに、**魅力的な場所が増**えると「いい気分」です

N. **観光施設が新設・整備**されると自分たちも使えるので「いい気分」です

R. テレビや雑誌、SNSなどで芽室町への**注目度が上がっていく**と「いい気分」です

C. 観光をきっかけに文化交流・国際交流による**教育効果が期待**できるので「いい気分」です

G. 観光で、**みんなが楽しそうに、笑顔の人が増**えると嬉しくて「いい気分」です

K. 観光で訪れた人から**「芽室町っていいまちだね！」**って**褒められる**と「いい気分」です

O. **「芽室町行ったことあるよ、芽室町って聞いたことあるよ」**という声を聞いたとき「いい気分」です

S. 観光資源である**日高山脈**のきれいな稜線を見ているとき「いい気分」です

D. 観光客に、自分の料理を**食べてもらえ**、**利益**も増えると「いい気分」です

H. 観光で、地域内の経済循環が増え、**所得が上がる**と家族も私も「いい気分」です

L. 観光客をおもてなしして、**観光客に喜んでもらえると**、こちらも「いい気分」です

P. 外貨が獲得されて**地域経済が活発**になると「いい気分」です

T. **いい口コミ**を見たり、耳にしたときには「いい気分」です

訪れる人

住む人も訪れる人も「いい気分」とは？
～観光を進めることで、「訪れる人」に、次のような感情を生み出していきます

A. 事前に調べていたのものを実際に**見たり、食べたり**できたときに「いい気分」です

E. その土地の**歴史などを知り感銘**を受けた時に「いい気分」です

I. きれいな**景色**を見たり、**美味しい食事**ができると「いい気分」になります

M. 自然を感じる**アクティビティで楽しめる**と「いい気分」になります

Q. **安全・安心**に観光ができると「いい気分」です

B. **映えた写真**を撮影できたときに「いい気分」です

F. その土地の**郷土料理やお酒**を飲めた時に「いい気分」です

J. **ペットと一緒に観光**ができると「いい気分」です

N. 移動方法に悩まず、**ストレスフリーで観光**ができると「いい気分」です

R. 店員さんが話しかけてくれたり、**明るく接してくれる**と「いい気分」です

C. **おもてなし**力の高い**接客**を受けると「いい気分」です

G. 地元の人と**触れ合い、交流**ができた時に「いい気分」です

K. 出会う人がみんな**親切・丁寧で、挨拶してもらえると**「いい気分」です

O. **地元の人ならではの話**を聞かせてもらえると「いい気分」です

S. 随所で**歓迎ムード**があると「いい気分」です

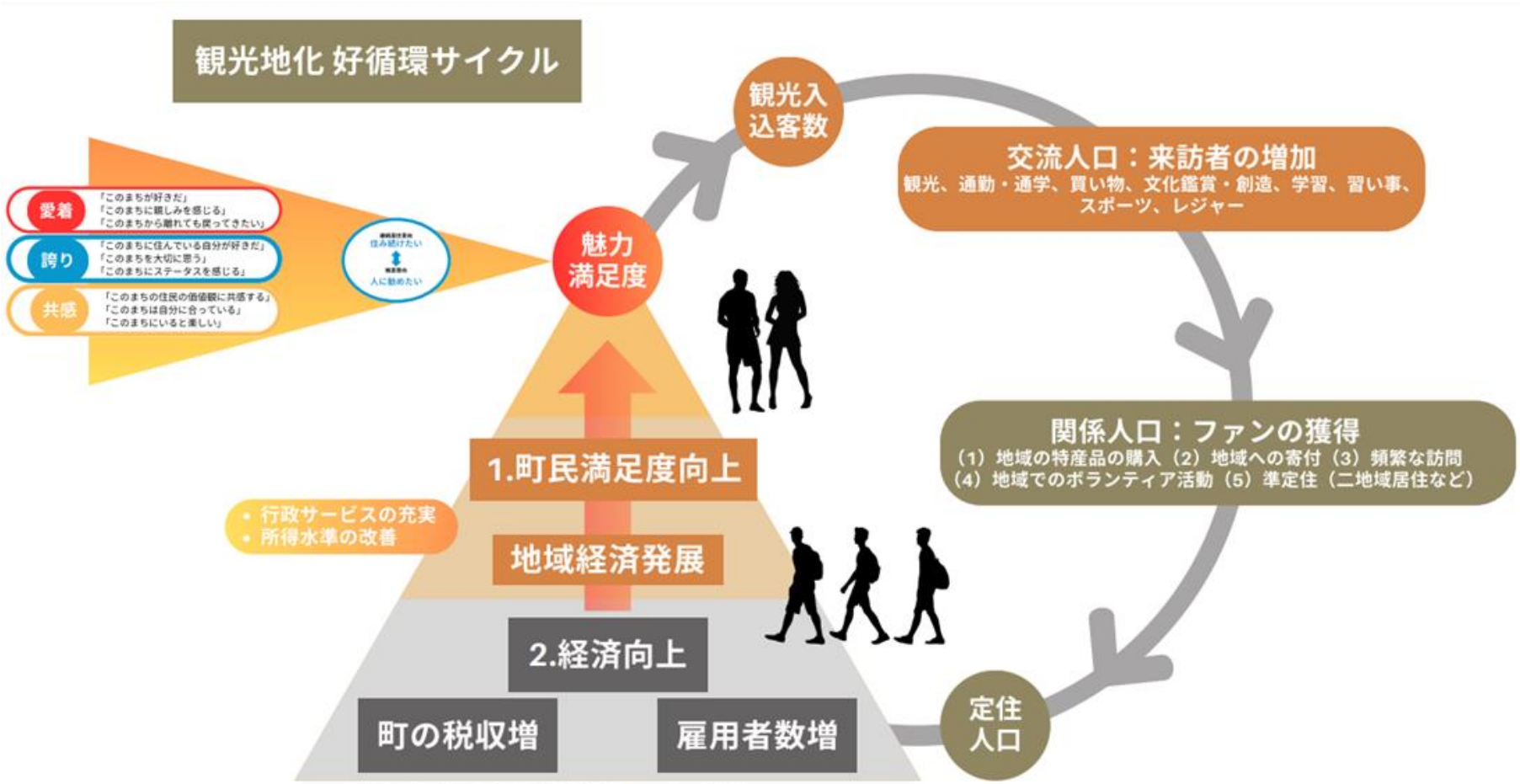
D. **自然の中**で、**ゆったりと**時間を過ごせると「いい気分」になります

H. 気軽に入れる**喫茶店・カフェ**があると、ちょっと休憩できたりして、「いい気分」です

L. 地元の**日常が知れると**「いい気分」になります

P. つくりての**想いが伝わる料理**や**素敵な雰囲気**は、価格が高くても「いい気分」です

観光による好循環イメージ図



1)法人税2)住民税3)固定資産税4)ふるさと納税
5)観光消費額6）観光物産協会物販額7)町予算額8)雇用者数

■ 観光ビジョンの議論経過と今後の予定

R５

6/22　関係組織等との議論❶　芽室町観光物産協会とjeki（JR東日本企画）
・観光と地域ブランディングの関係性確認
※観光物産協会及びjekiとは適宜情報交換
6/30　内部議論①　今後の進め方・テーマの設定
7/4　内部議論②　現状と理想
7/12　内部議論③　観光振興で、誰がどうなる？
観光資源の再確認
7/19　関係組織等との議論❷　国交省北海度運輸局観光部との情報交換
・北海道観光全体の状況（インバウンド増）
・十勝川温泉などには多くの観光客（どう芽室町に呼び込むか）
・日中のプログラム不足の補完等
7/24　内部議論④　理念と相関図の整理
7/26　内部議論⑤　課内で共有、ブラッシュアップ
7/31　内部議論⑥　全体構成の議論
9/14　関係組織等との議論❸　一般社団法人十勝プラスとの情報交換
10/2-5　関係組織等との議論❹　専門家と町内調査（観光庁専門家派遣事業　森田哲史氏）
10/6　関係組織等との議論❺　専門家と情報交換（観光庁専門家派遣事業　森田哲史氏）
10/19　関係組織等との議論❻　一般社団法人十勝プラスとの情報交換
12/19　内部議論⑦　全体構成の議論
12/22　関係組織等との議論❼　jekiとの情報交換
12/27　内部議論⑧　全体構成の議論

R６

1/ 9　内部議論⑨　全体構成の議論
1/16　総務経済常任委員会❶
1/25　関係組織等との議論❽　芽室町観光物産協会役員会
1/31　内部議論⑩　全体構成の議論
2/7　内部議論⑪　全体構成の議論
2/13　総務経済常任委員会❷
2/中旬～2/下旬　庁舎内及び関係組織等との議論（町内外）
3/1　内部議論⑫　全体庁議で全体共有
3/上・中旬　経営戦略会議（原案確定）
3/中・下旬　まちづくり意見募集（パブリックコメント）
3/下旬　総務経済常任委員会❸（予定）
3/下旬　町民説明（フォーラム等の開催）
4/下旬　成案化

【町民意見等の把握】
1　R2　芽室町ビジョンマップ作成時の町民等ワークショップ等内容
2　R3-4　野遊び事業・地域ブランディング事業ワークショップ等内容
3　R4-5　まちなか再生事業ワークショップ等内容
4　まちづくりに関する住民意識調査

【参考】
1　第５期芽室町総合計画・めむろシティープロモーション計画
2　観光立国推進基本法
3　第３次魚津市観光振興計画
4　岩見沢市観光振興戦略
5　第２次うるま市観光振興ビジョン
6　茅ヶ崎市観光振興ビジョン
7　観光立国の正体（著書）　など